



はなみずき



学校だより
磐田市立竜洋西小学校

令和6年6月24日
～えがお かがやく にしのこ～

★右上のQRコードから、竜洋西小学校のホームページを御覧になれます★

令和6年度グランドデザインについて！

URL https://ryuyonishi-e.city-iwata.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1990

学校教育目標

「えがお かがやく にしのこ」の具現化に向けての取り組み ～知育～

令和6年度 磐田市立竜洋西小学校グランドデザイン

対話を通して、学びをつくり実感する
★本気で考え、みんなと学ぶ子

- 対話を通して 自分の考えを深め 学んだことを自分の言葉で振り返っている。85%
- ・子ども一人ひとりが自分事として学ぶための授業改善をする。
- ・学び合う学習集団づくりをする。

学校教育目標
「えがお かがやく にしのこ」

学府教育目標
「未来を切り拓く 心豊かな 子どもの育成」

他者に心を寄せ 自ら判断し 正しい行動をとる

みんなとつくる 西の子スマイル
「気付けて喜ぶ」

健やかに 生き活きと生活する

対話を通して、学びをつくり、実感する

★本気で考え、みんなと学ぶ子

令和の日本型学校教育では、「主体的・対話的で、深い学びによる授業改善」が重要です。本校では、「対話」をキーワードとして、子どもを主語とした授業づくりを行っています。

「あれ」「おや」「なぜだろう」「分からないぞ」という子どもの素直な感情から、学習課題が生まれます。主体的になるためには、まず、課題意識・問題意識をもって学ぶことが大切です。教材を通して「自分との対話」、「仲間との対話」を行います。「そうか」「分かってきたぞ」「じゃあ、これはどうなのかな」というように、自分の考えをもてたり、自分の考えを再構築したりして学びを作ります。ここで大切なことは、自分とは異なった感覚や発想、結論に対して自分自身を開き、自他の意見をすり合わせながら、納得解を見つけていこうとする姿勢です。そして、自分自身の学びを振り返ることで、子どもたちは、自分自身の学びの実感・納得、本音に根差した学びを行うことができます。これが、深い学びです。

現在、各クラスで「目指す授業」に向かって、日々の授業改善が行われています。

子どもたちが社会の中で活躍する2040年は、仮想空間と現実空間がさらに融合した新しい社会『Society5.0』の幕が開けています。生成AIに代表されるように、大量の情報から私たちにとってより理解しやすい情報が人工知能(AI)によって、提供される時代が始まっています。そういう時代だからこそ、人にしかできない対話による新しい気付きや発見、ともに創り上げる喜びを子どもたちに味わわせていきたいと思えます。

ある授業の一コマより



竜洋西小学校では、「心の教室」が開設されています

昨年度から、竜洋西小学校に新たに「心の教室」南校舎1階東に設置されました。それに伴い、「心の教室相談員」が配置されました。これは、磐田市として、いじめや不登校に対応する教育相談体制の充実を図る施策です。悩みや不安を抱える児童生徒の「個」に応じたきめ細かな支援・指導を推進していきます。

心の教室担当 生徒指導主任
心の教室相談員

山崎 顕弘
矢島 晴美